

校訓
学校教育目標

真 善 美

心身ともに健康でたくましく、課題を追究する力を身につけた、
未来社会を担うことができる生徒の育成

申 城ノ古址

令和7年度
第7号

長崎市立片淵中学校

R7.7.7

校長 修行 勝則

長崎っ子の心を見つめる教育週間！本校の主な教育活動

本校では、6月30日（月）～7月6日（日）の一週間を「教育週間」に位置づけ、様々な教育活動を実施しました。その一部を紹介します。

令和7年度 生徒総会（7月3日）

生徒会室（執行部等）と各学級をリモートで繋ぎ活発な協議が行われました。議案書や採決等すべて一人一台パソコン（クロームブック）を活用し、次の議案について、約2時間、



真剣かつ前向きな協議が行われました。可決された内容は、生徒会長から校長に要望書として提出される予定です。

第1号議案：2025年生徒会活動方針について（執行部提案）

第2号議案：2025年生徒会専門部年間活動計画について（専門部提案）

第3号議案：学校生活向上に関する提案（各学級提案）

第4号議案：問題提起（生徒会組織の変更）に関する提案（執行部提案）

被爆体験講話（7月4日）

長崎平和推進協会の清野氏を講師にお招きし、被爆体験講話を実施しました。清野さんは8歳の時、爆心地から12Km離れた自宅近くのお寺で遊んでいるときに被爆されました。広島に落とされた原子爆弾と同じものだと知り、兄弟4人で佐賀県に疎開されたそうです。爆心地を通り、道ノ尾駅まで歩いたときに見た光景は残虐極まりないものであり、その時に亡くなった方々への哀悼の意を込めて被爆講話を続けているそうです。講話の最後に「まずは、近くにいる人を大切にすることが大事、そのためには自分自身も大切にしよう」という言葉で締めくくられました。子どもたちは、改めて戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを知るとともに、被爆地ナガサキに生きるものとして被爆者の思いを継承していく意識を高めることができました。

道徳公開授業（7月6日 命の登校日）

「生命の尊重」をテーマに全学級で道徳の公開授業を実施しました。各学年の発達段階に応じた題材で「命」や「生きること」について考える貴重な時間でした。



命の教育講演会（7月6日 命の登校日）

長崎いのちを大切にする会の吉松氏を講師にお招きし「あなたが大切～お母さんは、あなたを命がけで生みました～」のテーマのもと、全校生徒、保護者、地域の方々を対象に命の教育講演会を実施しました。

4人の子どもを産み育てた実体験や辛く悲しいことを乗り越え、常に前向きで明るく生きてこられた姿に涙する生徒も多く見られました。「この世に生まれてきた奇跡」や「多くの人に支えられていることへの感謝の気持ち」を改めて実感できたような気がします。



災害時引き渡し訓練（7月6日 命の登校日）

近年、毎年のように全国各地で大雨、台風、地震等の大きな災害が発生しています。このような自然災害等が発生し、生徒の通学路や自宅の安全が確認できない場合、生徒を学校から保護者等に確実に引き渡すことによって生徒の生命の安全を確保できるよう「引き渡し訓練」を実施しました。学校では、様々な場面を想定した避難訓練を年間3回程度実施していますが、状況によっては、保護者の皆様や地域の方々にご協力いただくことも考えられます。今回の訓練にもたくさんの方に参加していただき、ありがとうございました。



PTA 七夕笹飾り（7月6日 命の登校日）

今年も、PTAの協力により、大きな笹を2本玄関前ホールに設置していただきました。生徒会が推進している縦割り班に分かれて、それぞれの笹に個人の願いを込めた色とりどりの飾りを掲げました。ちなみに、本日は、令和7年7月7日、30年振りに7が3つ並ぶ縁起の良い日です。

